

SYDかわらばん

〈最新活動情報 No.156〉 2021年10月20日号

～歴史探訪～オリンピックと国土美化運動の展開(その3)

修養団は「美しい日本」への願いを、東京オリンピックの後も継承し、沖縄地区での活動を軸に全国各地での「国土美化」「青年奉仕」のキャラバン活動を推進しました。その後、事業名の変遷を経て、現在もその精神は受け継がれ、多くの参加者が「愛と汗」を基本とした奉仕活動を実践しています。

青年奉仕キャラバン

昭和39年に全国で開催され、多くの成果を残した「公衆道徳高揚国土美化キャラバン」については前号でふれたが、昭和40年度に沖縄を重点地域として、「公衆道徳高揚国土美化キャラバン」を実施した。



第1次沖縄キャラバン (昭和41年1月)

沖縄キャラバンは全国各地より選ばれた本土側青年代表と沖縄の青少年が共に手を携え、友情を深めながら、「若人の森建設大会」をはじめ、「明るい社会建設研修会」「那覇市を美しくする早朝のつどい」「南部戦跡美化奉仕活動」などの実践奉仕活動を展開し、画期的な成果をもたらした。

一方で、従前より実施されてきたキャラバン活動は、キャンペーン的性格が強く、ややもすると単なる宣伝啓蒙活動と一部で見られ、また国土美化、公衆道徳の高揚という名称から、必然的にその活動が限定されがちであった。この反省を踏まえ、昭和41年から構想を新たに実施したのが青年実践活動の一環としての「社会開発「青年奉仕キャラバン」」である。

「共同開発の主役は青年である」という発想に基づき、本事業が単なる名称変更だけでなく、この運動の本質的なあり方の問題であると

捉え、この年を契機に、修養団の青年実践奉仕活動はいよいよ地域・職場に定着していくようになった。



第9次
沖縄キャラバン
(昭和49年1月)

群馬キャラバン
(昭和49年11月)



その後、北海道キャラバン、福井・新潟・佐渡キャラバン、福岡・対馬・壱岐キャラバンと、7泊8日から14泊15日という長期キャラバンが本土各地でも実施されていった。

青年ボランティア・アクションへ

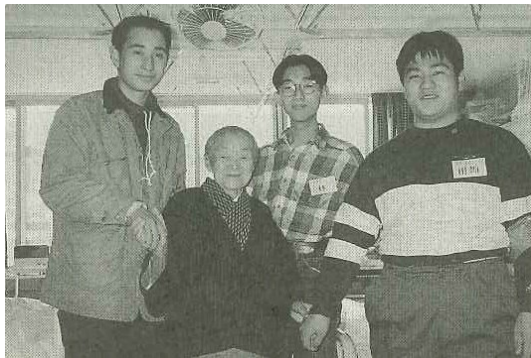
昭和41年から実施した文部省補助事業となった「青年奉仕実践活動」は、“青年の手で明るい社会・美しい日本を！”をスローガンとして



第31次沖縄キャラバン
(平成5年1月)

「青年奉仕沖縄キャラバン」を機に「北海道キャラバン」「東北キャラバン」「関東キャラバン」「中国キャラバン」「四国キャラバン」「九州キャラバン」など全国各地にお

いて活動を展開し、多大な成果を収めてきたが、平成4年度の「第31次沖縄キャラバン」をもって、終了した。



第1回青年ボランティア・アクション in 北海道
(平成6年1月)

全国で75回実施された青年奉仕キャラバンの中でも、特に継続的に実施された「沖縄キャラバン」は、活動の地を沖縄県下から北海道東地区に移し、実施事業名を「青年ボランティア・アクション」と改名し、青年がボランティア活動を特別養護老人ホームなどで実践する機会として平成6年にスタートした。施設でのボランティアの奉仕体験、ひとり暮らしのお年寄りの方への訪問や修養団端野町支部(当時)の会員宅にホームステイをするふれあい体験などをおし、愛汗精神を発揮し「ふれあい」の感動が広がっていった。



第1回青年ボランティア・アクション in 福島
(平成11年1月)



車いす体験

北海道での5回の開催を経て、平成11年より、修養団創立者・蓮沼門三生誕の地、福島県喜多方市及び山都町に会場を移し、救急法学習のほか、車いすに乗っての疑似体験などもプログラムに加えた。



雪かき作業

平成25年度からは、従来の高齢者施設での活動に加え、東日本大震災被災者への支援活動も盛り込み、福島県、宮城県の仮設住宅、復興住宅での食事提供や住民の方々のふれあい活動も実施している。



参考文献

- ・修養団運動80年史
- ・社会教育100年「愛と汗の歩み」
- ・「青年奉仕実践活動」
- 「社会開発青年奉仕キャラバン」
- 「青年奉仕沖縄キャラバン」
- 「青年ボランティア・アクション」各報告書
- ・本団機関誌「向上」

主催事業・活動等

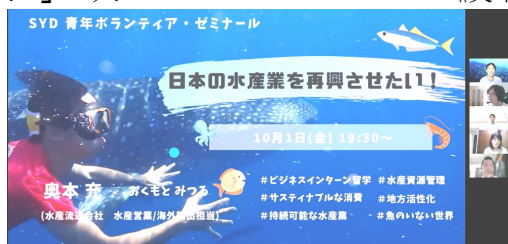
報 告

9/28…「幸せの種まきキャンペーン」〔東京都・SYDホール〕30人 《山口千恵子、谷野渉》
 11月26日～28日にSYDホールで上演される舞台「サンパギータ咲く山の童話～パヤタスに降る星より」の出演者に向け実施した。



舞台は、山口千恵子SYD青年部長の著書
 を原作として上演されるもので、プロデュー
 ーの毛利杏奈さん、また脚本演出の貞岡秀
 司さんは過去に「青年ボランティア・アクション
 inフィリピン」にも参加されている。

10/1…「オンライン青年ボランティアゼミナ
 ル」12人 《奥本充》



SYDのボランティア事業に参加し、現在は
 水産流通会社に勤務する奥本充さんが、「日
 本の水産業の未来をつくる～がむしやらに生
 きて、やっとたどり着いた道～」のテーマで講
 演した。

学生時代のボランティア活動、留学先で出
 会った水産業、日本の水産業の現状などを紹
 介したほか、「流通の新しい形」についても提
 言した。また、奥本さんは「この人に会いた
 い！」と水産庁長官をはじめとした著名人との
 出会いを実現させたり、カンボジアや北海道
 でのインターン体験を体当たりで実現させたこ
 とを「がむしやらポイント」として紹介した。

10/15～17…「オンライン子どもWAKU×2ひ
 ろば(東京)」20人 《板倉和也、増田航介》



SYD東京が「オンラインハロウィン」を実施
 した。

参加者は、自作のモンスターを持ち寄り、グ
 ループに分かれて寸劇を創作し発表。各グ
 ループの個性あふれる登場人物やストーリ
 ーで大いに盛り上がった。

青年リーダーが会の始まりにダンスやレクリ
 エーションをおこなったほか、後日参加者には
 手作りのキーホルダーが送られた。

10/15～17…「神嘗祭特別講習会」〔三重県伊勢
 市・伊勢青少年研修センター〕《武田数宏、寺岡賢、
 山崎政弘、中山貴生、斎田聖生、竹本英美、亀田希
 奈里》

※詳細は次号に掲載します

予 定

10/29…第13回「チャリティー演芸会
 ～秋の夜に笑おう!の巻～」
 〔東京都・SYDホール〕

今回は立川らく次、立川志獅丸、春風亭
 ぴっかり☆、林家彦三の各氏による落語をお
 楽しみいただきます。収益金は、フィリピンや
 ブラジルなどのストリートチルドレン等の支援
 のために使わせていただきます。

11/5…「オンライン青年ボランティアゼミナ
 ル」 《志藤大地》

11/6～7…「WAKU×2ボランティアリーダ
 ー研修会」(愛知)〔愛知県豊田市・公益財団法人
 オイスカ中部日本研修センター〕
 《中山貴生、板倉和也》

11/13…「幸せの種まき祭り」〔東京都渋谷区・SY
 Dホールほか〕

【幸せの種まきキャンペーン《出前講座》】
 《山口千恵子、谷野渉》

- 10/26 静岡県・私立浜松聖星高等学校
- 11/ 2 愛媛県松山市立椿中学校
- 11/ 4 神奈川県・私立カリタス女子中学校

「心の参加者」を募集いたします



《今年の演芸会チラシ》



《昨年の東京ベルズハッピーヴォイスコンサート》

生きるために働き、
学校へも通えない子どもたちがいます。
《コロナ禍で生活がさらに困窮し、支援が必要となっています》

フィリピン・バヤタスのゴミ捨て場では、今日もゴミ山の中から換金できるゴミを拾って家計を支えている子どもたちがいます。

SYD〈幸せの種まき献金〉は、皆さまからの献金によって、この子たちが無料で勉強できる「パンガラップ・ラーニング・スクール」の運営支援や、そこに通う子どもたちへの学資支援を行っています。

現在、新型コロナウイルスの影響で、日雇いが多いゴミ山周辺で暮らす大人たちの収入がなくなり、多くの子どもたちの経済・健康状態がさらに悪化しています。



▲昨年度は、学資支援している子どもたちの家へ食料品を配給しました。

SYDでは、チャリティー事業として「演芸会」、および「東京ベルズハッピーヴォイスコンサート」を実施しています。

「行きたいけど感染症が心配」「遠方だから行けない」という方に、「心の参加者」としてご寄付のお願いをさせていただいております。

お寄せいただいたご浄財は、SYDの「幸せの種まき献金」を通じて、フィリピンやブラジルのストリートチルドレン支援に使わせていただきます。

《QRコードでもお申込みいただけます》



演芸会



コンサート

※ご不明な点は右記へご連絡ください。

〈発行・連絡先〉

SYD(公益財団法人修養団) 社会教育部
〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 4-25-2
☎03(3405)5441 FAX03(3405)5424
E-mail : info@syd.or.jp
ホームページ : https://syd.or.jp/

SYD 検索